

「未来」につなぐ パート2 ひとづくり・まちづくりを考える

～「子どもたちが夢と希望を抱けるまち」への挑戦！～



日時：令和元（2019）年 7月18日（木） 14：00～16：00

場所：能勢高校 会議室

連絡先：能勢町教育委員会・大阪府立能勢高校豊中高校能勢分校

（TEL 072-734-2693）（TEL 072-737-0666）

※能勢町では地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）の取組をすすめています。

ひとづくりとまちづくりは別々のもの？「地域とともにある学校づくり」って？
どうやったら手を取りあえる？

先日6月21日に開かれた近江正隆さんの講演会には、多数ご来場いただき、誠にありがとうございました。終了後、参加者同士の話も盛り上がり、それぞれの思いが交流される良い機会となりました。また、アンケートでは、貴重なご意見やご感想をいただき、今後の事業展開の参考にさせていただきます。（裏面に当日のアンケート結果の一部を紹介しています。）

北海道十勝の最東端、人口5000人の浦幌町で始まった「うらほろスタイル」事業。未来を担う子どもたちを対象にした教育カリキュラム開発から始まり、大人もともに知恵を出し、汗をかく「子どもの思い実現事業」「若者の仕事創造事業」、高校生による「浦幌部」の立ち上げなどに発展しています。浦幌町では、「次の世代が引き受けてよかった！と思ってくれるような社会を創っていくこと」「次の世代に未来を生き抜く力を身につけてもらうサポートをすること」を目的として、浦幌町を拠点にまちづくりや教育事業に様々な人たちが関わり続けておられます。

能勢町の子どもたちの未来をめぐるビジョンについて共有し、社会総がかりでおこなう子育てについて考え合います。前回参加された方も、今回初めての方も、どなたでも参加可能です。事前申し込みは不要です。是非、お越しください。

近江さんの講演
「なぜ今学校地域
協働なのか？」

「めざす子ども像」
について考え合う

めざす子ども像の実
現に向けて、協働で
できることを考える

【話題提供者プロフィール】

近江正隆（おうみ まさたか）さん 〔（株）ノースプロダクション代表取締役〕



1970年東京都生まれ。19歳で十勝に単身移住し、漁師業、水産加工・ネット販売業に携わる。2006年の転覆事故をきっかけに生き方を転換し、その後まちづくりや教育事業に関わり続けている。

「うらほろスタイル推進地域協議会」会長（2013年まで）、NPO法人「食の絆を育む会」理事長、「十勝の未来を考える自治体職員の会」コーディネーターなどを歴任。

首相官邸「再チャレンジ懇談会」、文部科学省食育有識者会議出席（以上2013年）、5省庁合同「子ども農山漁村交流プロジェクト」有識者会議出席（2014年）、文部科学省「首長部局等との協働による新たな学校モデル構築事業」研修会講師（2016年）、農林水産省「平成29年度総合職試験等採用者研修」講師（2017年）など、国の政策への助言等の実績も多数。

主催 能勢町教育委員会・能勢高校豊中高校能勢分校

※本事業は、学校運営協議会と地域学校協働本部設置・拡大に向けた調査研究事業の一環としておこなっています。